

2008 年度

科目名 地域福祉論	対象学科・学年 文学部全学科 3 回生 教育教福 3 回生 人間人社 3 回生	担当者 神部 智司
授業テーマ 地域を主体とした社会福祉実践について学習する。		
授業の概要と目標 高齢者や障がい者、子どもという枠組みを超えて、生活主体者としての「人」を対象とした地域生活支援の実践について学習するとともに、生活支援に必要な知識や技術について理解することを目標とする。		
評価方法 定期試験および平常点（出席状況、受講態度、提出物等）による総合的な評価を行う。		
テキスト 新・社会福祉士養成テキストブック⑪地域福祉論	著者 市川一宏・牧里毎治	出版社 ミネルヴァ書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 地域福祉とソーシャルワーク 2. コミュニティと地域福祉（1） コミュニティと地域社会の福祉課題 3. コミュニティと地域福祉（2） 地域福祉システムと公私関係 4. コミュニティと地域福祉（3） 地域福祉の構成と内容 5. コミュニティと地域福祉（4） 地域における保健福祉ネットワーク人材 6. 地域福祉の推進方法とソーシャルワーク（1） 地域福祉と組織化活動 7. 地域福祉の推進方法とソーシャルワーク（2） 福祉教育と福祉情報活動 8. 地域福祉の推進方法とソーシャルワーク（3） 地域福祉計画の方法と展開過程 9. 地域福祉の理念と概念（1） これからの地域福祉ビジョン 10. 地域福祉の理念と概念（2） 地域福祉の思想と理念 11. 地域福祉の理念と概念（3） 地域福祉の概念 12. 地域福祉への時代的要請 13. 参加型地域社会の創造 14. 地域福祉を推進する専門職への期待 15. これからの地域福祉の展望と課題		